



剣道
×
社会貢献

中部大学第一高等学校剣道部 指導コーチ
吉田 正人さん

経済学部1979年卒業。企業に就職後、1981年に刑務官に採用され、名古屋刑務所などで勤務。2007年、職務遂行の傍ら、中部大学第一高等学校剣道部の指導コーチに就任。

剣道を通じて学んだことを
子どもたちに伝えていきたい

■ 現在の活動とやりがいを教えてください

名古屋刑務所で業務にあたる傍ら、2007年より中部大学第一高等学校剣道部の指導コーチを務めています。

公務執行に支障を生じてはいけませんので毎日顔を出すことはできませんが、私が訪れるのを心待ちにしてくれている、子どもたちの日々の成長を見守るのが楽しみとなっています。練習後、子どもたちの満足した顔を見て道場を出るときが、至福の時間ですね。

■ 指導を通じて子どもたちに伝えたいことは何ですか？

私は、高校・大学と続けていた剣道から多くを学び、剣道のおかげで現在の職場に奉職する機会に恵まれました。

私が学んだ、辛く苦しい状況でも逃げずに立ち向かう勇気、困難を乗り越える気力、時には希望を持って耐えることができる忍耐力、あるいは、可能性は振り向けば無限大であること、汗と涙の後には輝く未来があるということ、指導を通じて子どもたちに伝えていきたいと思っています。

■ 同窓生のみなさんにメッセージをお願いします

剣道に興味のあるお子さんがいらっしゃれば、ぜひ中部大学第一高等学校の剣道部をお考えください。また、名古屋学院大学剣道部OBの1人が、母校に非常勤として着任し、剣道部第二顧問として指導にあたっております。充実した指導者のもと、心身共に強く成長できることをお約束します。ご縁がありましたら、よろしくお願いたします。

吉田さんの活動を拝見!



剣道を通じた青少年の健全育成および、地域社会への貢献を目指す

民宿スタッフ・イラストマップライター・
熊野古道ガイド
植野 めぐみさん

外国語学部卒業。アウトドアメーカーの販売員を経て、紀伊半島へ移住。国内・国外を旅して巡る傍ら、調査員・イラストレーターとして活動。現在は、1日一組限定の宿のスタッフも勤める。

表現者
×
想いの発信

やりたいと思うことが
実現へのスタートライン

■ 現在の仕事とその魅力を教えてください

紀伊半島を拠点にして、「いにしへの道」をテーマに国内外を巡りながら、調査員・イラストレーターとして活動しています。また、携帯電話が通じない、熊野の山奥にたえず1日一組限定の宿のスタッフとしても働いています。

自分が表現者として、堂々と人前に立てることが本当にうれしい。熊野の奥深さを五感を駆使して様々な人に伝えられること、仕事を通じて同じような活動をしている人々とつながることができるのも魅力です。

■ なぜその仕事を選んだのですか？

大学に在学中、ワンダーフォーゲル部の活動を通じて、旅を人力で成し遂げる楽しさを知りました。その体験が、旅を自分の「創造力」をもって表現するという、現在の仕事につながっています。

■ 今の夢を教えてください

「思い描いた時に運命は始まる」。やってみたいと思うことが、それを実現させる道へのスタートラインだと信じています。

今一番の望みは、熊野をスタートとする世界一周「古道」の旅を実現させ、イラストマップとして描くこと。その旅の第一弾は、すでに実現しています。



植野さんの活動を拝見!



昨年、紀伊半島が大水害で被災した際、ボランティアとして活躍